

令和6年度

瑞穂市自治会連合会 事業報告会

第1部 事例発表

子ども会や小中学生と連携した自治会活動について

(下唐栗自治会) … P1

本田校区自治連合会の活動について

(本田校区自治連合会) … P9

第2部 研修会

講師：studio-L 代表 山崎 亮 氏

演題：「これからのまちづくりについて」

日 時：令和6年12月15日（日）

第1部 事例発表 午後1時30分～午後2時25分

第2部 研修会 午後2時30分～午後4時00分

場 所：瑞穂市民センター 大ホール

子ども会や小中学生と連携した 自治会活動

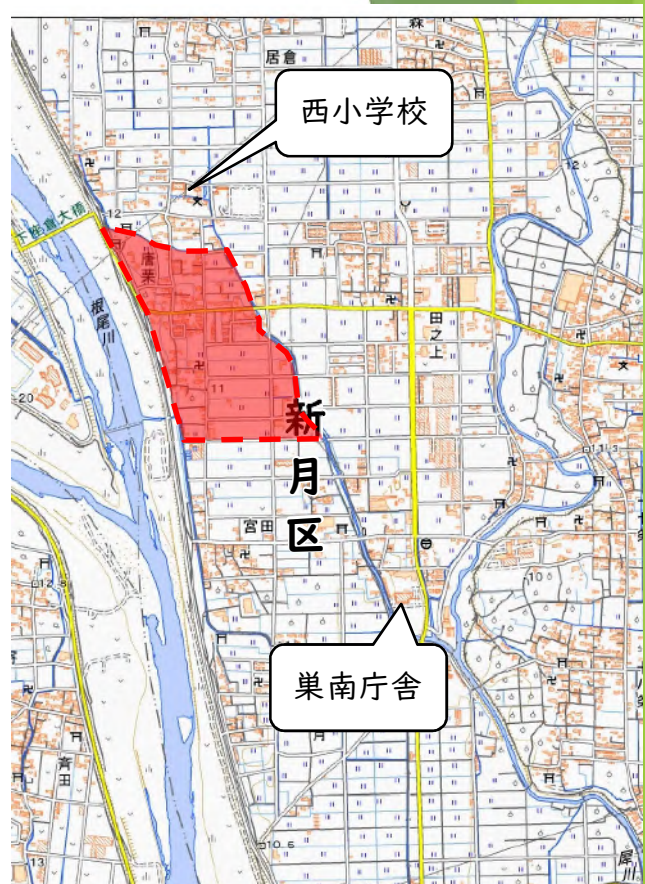


下唐栗自治会長 若園 誠

下唐栗自治会 とは？

下唐栗の状況

世帯数	131世帯
人口	約467人
高齢者 (65歳以上)	94人
高齢化率	20.1%
子ども人口	71人
子ども率	15.2%



西校区高齢化率・子ども率 (令和6年3月現在)

小数点以下第2位を四捨五入

自治会	高齢化率(%)	子ども率(%)
座倉	38.5	1.9
一ツ木	30.7	9.3
居倉	38.3	7.7
森	31.5	7.6
田之上	21.8	11.2
新月	33.3	13.3
上唐栗	19.9	15.2
下唐栗	20.1	15.2
宮田	37.7	8.3
大月	26.8	11.0
西校区平均	28.7	10.4
瑞穂市平均	21.6	14.8

下唐栗地区の課題

- ・西校区の中では高齢化率が低く、子ども率が高い自治会ではあるが、徐々に少子高齢化が進んでいる。
- ・コロナ禍による自治会行事の中断により、空白の期間ができてしまったため下唐栗地区の伝統であったフェスタ等を復活できるかどうか。
- ・自治会と同様に子ども会においても、役員不足やコロナ禍の中断の影響でノウハウが不足し、事業の実施が難しくなっている。



**自治会だけの問題ではないため、様々な団体が協力して解決すべき！
そのために、普段から顔の見える関係を構築し、相談しやすい体制に！**

下唐栗のフェスタ・ラジオ体操実施までの流れ

ふれあい会議

フェスタ

ラジオ
体操

フェスタ

ふれあい会議とは

主に巢南中学校区内の自治会で夏休み前に行われる会議のこと。

ラジオ体操・フェスタ・クリーン活動といった自治会活動について、青少年育成の観点から、どのように子どもたちを巻き込みながら活動を行っていくのかを話し合う会議。

会議には、子どもたちも参加し、発言の機会を与えるなど、子どもの意見を集約するのが本来の姿である。

しかし

近年ではふれあい会議を実施しない自治会や子どもたちが参加せず、大人の意見だけで、行事の実施可否を決める自治会も増えてきた。

下唐栗のラジオ体操・フェスタ

- ・ラジオ体操
中学生が主導！！
小学生のお手本となる



この伝統は無くしたくない！

- ・フェスタ
小中学生が主体！！
小中学生によるよさこい踊りや
出店の運営
大人はサポートの立場



どのように小中学生を参画させたか

フェスタの企画段階から小中学生を会議に参加させる

- 会議に保護者を呼ばない。
子どもたちが純粋にやりたいことを聞き出す。
子どもたちの要望を叶えられるよう、全力で大人がサポートする。
企画段階から携わらせることで、当日の運営についても責任を持って行わせることができる。

中学生から小学生へ意思を引き継ぐ

- 中学生の主導により小学生にラジオ体操やよさこい踊りを指導することで、低学年に意識を根付かせる。

フェスタ当日の様子



子ども会との連携について

子ども会の課題

- ・西校区全体の子ども会加入率は44.0%
活動団体数は4（西校区自治会数10）
- ・下唐栗地区では子ども会が活動しているが、各種イベントを実施する際には、役員やノウハウが不足しており活動が難しい状況にあった。



子ども会から自治会への協力依頼

自治会としても子どもたちを巻き込んだ自治会活動はとても重要であることから、全面的にバックアップを実施。

その他の取組

・公民館の開放

不定期に公民館を開放し、子どもが集える場所に！
時にはサロンと合同で開催し、大人と子どもが交流
できる場として活用！



まとめ

・子どもの頃から自治会行事に携わらせる

→今後も少子高齢化は進行。子どもの頃から自治会行事に携わらせることにより、地元愛を持ってもらい、将来支える側として自治会活動に参画してもらいたい。そのためには子ども会などとの連携は不可欠。

・自治会だけでなく各種団体と協力

→地域には自治会だけでなく、様々な団体があり、それぞれが問題を抱えながら活動している。校区組織や地域で活動している各種団体と連携を図ることで、負担を軽減できたり、新しい解決策を図ることが可能。



ご清聴ありがとうございました

本田校区自治連合会

～ 本田はひとつ ～

本田校区自治連合会 会長 坂之上尚久

本田校区自治連合会

■ 加盟自治会	21自治会
■ 住基人口	9,251人(56,074人)
■ 住基世帯数	3,654世帯(23,313世帯)
■ 高齢化率(65歳以上)	22.9%(21.6%)
■ 子ども率(14歳以下)	16.2%(14.8%)
■ 自治会加入率	69.6%(66.3%)

令和6年3月31日現在

平成31年3月23日に発足

本田校区自治連合会本部
(総会)

理事会

役員会

本部役員会 年4回 (4. 7. 10. 1月)
理事会 年4回 (5. 8. 11. 2月)
総 会 年1回 (3月)

いきいき
活動委員会
(社会教育)

ほんでん
防災会議
(防災)

ほんでん
福祉委員会
(福祉)

ほんでんの自然
を守る会

- 主な財源：市からの補助金及び自治会協力金（1世帯200円）
- 広報活動：ほんでんレポートの発行（回覧）



いきいき活動委員会①

- ◎ウォーキング
- ◎夏祭り
- ◎運動会
- ◎環境・美化活動 など

【主な構成員】

社会教育推進員／子ども会／青少年育成推進員／スポーツ推進委員
小中PTA関係／本田小学校／穂積北中学校／
サポーター（35名） など

いきいき活動委員会②

いきいきウォーク2024

5月19日（日） 午前9時～12時

本田小学校を発着とする本田校区の名所をスタンプカードを
持って巡る約5kmのコース
チェックポイントには、ミニゲームや給水所を用意
ゴール後には、「豚汁」と「おにぎり」を配布

今年度は、約930名の参加者

いきいき活動委員会③

ほんでん夏祭り

8月3日（土） 午後5時30分～

場所：糸貫川運動公園

- ・お菓子配り
- ・自治会バザー
- ・よさこい踊り
- ・太鼓演奏
- ・花火打ち上げ
- ・お楽しみ抽選会

今年度は、約3,000名の参加者



いきいき活動委員会④

いきいきスポーツ大会

10月6日（日） 午前9時～12時
本田小学校 運動場

- ・6ブロック対抗の運動会
- ・競技は、オープン参加と得点種目
- ・競技毎と来場時に参加賞あり

今年度は、約1,500名の参加者



いきいき活動委員会⑤

環境美化運動

6月 8日（土） ヒマワリの種まき（本田ミセン）
6月16日（日） ボランティア清掃（本田小）
11月 9日（土） チューリップの球根植え（本田ミセン）



研修事業

11月10日（日） 社会見学（半田・常滑方面）

ほんでん防災会議①

- ◎避難所確認訓練（11月17日）
- ◎防災勉強会
- ◎防災体制の充実・整備
- ◎緊急時の自治会相互使用
- ◎消防団員の募集



【主な構成員】

自治会長（全自治会長含む）／消防団／避難所運営協議会／女性防火クラブ
各施設長（本田小学校／穂積北中学校／本田コミュニティセンター） 等

ほんでん防災会議②

避難所確認訓練

11月17日（日） 午前9時～
本田小学校／穂積北中学校／
本田コミュニティセンター



本田校区内の3つの指定避難所において同時に訓練を実施

- ・消防団によるホース展張訓練
- ・避難経路の確認
- ・避難所の開設・受付
- ・部地区資機材の設置

ほんでん福祉委員会①

- ◎福祉施設連絡会議(9施設参加)
- ◎映画会(8月18日)
- ◎福祉共育の支援
- ◎福祉体制の充実・整備
- ☆LINEを活用

【主な構成員】

民生委員・児童委員／福祉施設(協力者)／ほんでん福祉応援隊 等



ほんでん福祉委員会②

買い物支援事業

～令和7年4月1日開始予定～

利用日時：毎週水曜日

協力金：100円/回

利用対象：本田校区に居住

本田校区自治連合会：ほんでん福祉委員会 令和7年4月1日から開始予定

本田校区買い物支援事業

を開始します

買い物したい店が近くにない。免許証返納で車に乗ることができない。
そんな方たちを地域で、ほんでん福祉委員会が応援します。

日 時：毎週水曜日 10時出発
集合場所：本田コミュニティセンターほか 詳しくは裏面をご覧ください

買い物に行きたいけど、お店が遠いし重たいし
(免許は返納しちゃったからなあ)
だれかが送迎をしてくれないかなあ

わたしたちが送迎します

依頼：ほんでん福祉委員会
車 輿：(社福)新生活会
運 転：(社福)新生活会
保 険：ほんでん福祉委員会
問合せ先：(社福)瑞穂市
社会福祉協議会

【イメージ図】

Super Market

買い物時間は45分程度

ほんでんの自然を守る会

- ◎ 絶滅危惧種ハリヨの保護活動
- ◎ ハリヨの調査・勉強会
- ◎ 児童・生徒への環境教育（観察会等）
- ◎ ハリヨ生息地の清掃

【主な構成員】

ボランティア 等



まとめ

～ 本田はひとつ ～

-
-
-
-

第2部 研修会

講師：studio-L 代表 山崎 亮 氏

演題：「これからのまちづくりについて」

第2部 研修会

講演：これからのまちづくりについて



山崎 亮（やまざき りょう）
studio-L代表
関西学院大学建築学部教授
コミュニティデザイナー
社会福祉士

【経歴】

1973年愛知県生まれ。

大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。

建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『コミュニティデザインの源流（太田出版）』、『縮充する日本（PHP新書）』、『地域ごはん日記（パイインターナショナル）』、『ケアするまちのデザイン（医学書院）』などがある。

[illegible]

[illegible]

[illegible]